

水道事業会計決算報告

業務状況(表①参照)

令和6年度は、給水人口が463人減少（前年度比2.25%減）し、給水戸数が6戸増加（前年度比0.08%増）しました。年間有収水量は前年度に比べ、人口減少などの影響により家事用の使用水量は減少しましたが、営業用や官公署・学校用の使用水量が増加したため、前年度を上回る結果となりました。また、有収率は前年度比0.06ポイントの増加となりました。

財政状況(表②参照)

令和6年度の総事業収益は4億7,275万2千円、総事業費用は4億7,321万2千円となり、当年度純損失46万円を計上する結果となりました。

一方、資本的収入は1億638万円、資本的支出は3億18万2千円となり、この1億9,380万2千円の不足額は、損益勘定留保資金で補填しました。

総括事項

営業収益については、前年度比2.16%の増となりました。主たる収入である給水収益については、人口減少などの影響により家事用は減少しましたが、営業用や官公署・学校用が増加したため、前年度比2.26%の増となっています。

営業費用においては、燃料費高騰に伴う電気料金の増加、上水道台帳システム作成に伴う委託料の増加などにより前年度比0.70%の増となっています。

経費節減に努め経営健全化を図っているものの、令和6年度は、燃料費や資材費、労務単価の上昇により費用が増加したほか、老朽管の修繕などが頻発しており、昨年度に引き続き赤字決算となりました。

昭和34年の事業創設以来、約60年が経過しており、管路や設備については老朽化が進んでいることから更新の必要に迫られております。さらに、地震などの災害に備えるべく施設や管路の強靱化が求められており、老朽管路などの更新に合わせた耐震化を進めるため多額の資金が必要になります。給水収益が減少傾向にある中、中長期的な展望を持って経営に臨むため、令和6年度に改定した勝山市水道事業経営戦略では、国の交付金のほか、保有している資金を計画的に活用するとともに、料金改定も含め、財源を確保し財政的基盤の強化の方向性を定めています。

今後も、市民生活に不可欠となる清浄で安全な水道水を供給していくため、既存水道施設の維持管理に努め、社会的情勢の変化などを注視し、更なる経営の効率化を図ってまいります。

表① 業務状況

項 目	業 務 量	前年度増減比
給 水 人 口	20,089人	-2.25%
給 水 戸 数	7,631戸	0.08%
年 間 総 処 理 水 量	2,666,300m ³	1.68%
年 間 有 収 水 量	2,173,166m ³	1.76%
1日最大処理水量	13,750m ³ 令和7年2月20日	5.45%
有 収 率	81.50%	0.06% 比率ではなく上昇数
管 渠 延 長	347,550.0m	0.05%

表② 財政状況

【収益的収支(税抜)】		
区 分	R6年度決算額	R5年度決算額
収 入	4億7,275万2千円	4億6,924万1千円
支 出	4億7,321万2千円	4億7,572万円
差 引	-46万円	-647万9千円

【資本的収支(税込)】		
区 分	R6年度決算額	R5年度決算額
収 入	1億638万円	2億1,883万8千円
支 出	3億18万2千円	3億9,457万3千円
差 引	-1億9,380万2千円	-1億7,573万5千円

表③ 主な改良事業

事 業 名 (工 事 名)	地 係	事 業 費 (工 事 費)
重要給水施設 配水管布設替実施設計業務委託	昭和町1丁目ほか	543万4千円
重要給水施設 配水管布設替工事に伴う舗装復旧工事第1工区	旭町1丁目ほか	697万4千円
重要給水施設 配水管布設替工事に伴う舗装復旧工事第2工区	昭和町3丁目ほか	977万9千円
若猪野水源地 No.3送水ポンプ更新工事	若猪野	1,386万円
市道8-5号線ほか 道路改良工事に伴う配水管布設替工事	元町3丁目ほか	1,290万3千円
雁ヶ原送水ポンプ場 No.2送水ポンプ更新工事	長山町1丁目	655万6千円
立川第1水源地1号井・2号井 水位計更新工事	立川町2丁目	616万円
聖丸配水池ほか 水位計更新工事	野向町聖丸ほか	555万5千円

下水道事業会計決算報告

令和6年度から地方公営企業法の全部適用を受け、公営企業会計へ移行しました。

業務状況(表①参照)

(公共下水) 令和6年度は、水洗化人口が300人減少（前年度比1.77%減）し、水洗化戸数が41戸減少（0.62%減）しました。年間有収水量は2,107,842m³となり、前年度は請求月変更に伴い13か月分の使用料を収入としていたため、前年度比では減少しています。また、有収率も同様に8.12%減少しています。

(農業集落排水) 令和6年度は、水洗化人口が39人減少（前年度比1.89%減）し、水洗化戸数が1戸減少（0.15%減）しました。年間有収水量は218,257m³となり、前年度は請求月変更に伴い13か月分の使用料を収入としていたため、前年度比では減少しています。また、有収率も同様に10.05%減少しています。

財政状況(表②参照)

令和6年度の総事業収益は10億6,221万7千円、総事業費用は10億2,161万円となり、当年度純利益4,060万7千円を計上する結果となりました。

一方、資本的収入は8億9,311万1千円、資本的支出は9億9,587万8千円となり、この1億276万7千円の不足額は、損益勘定留保資金および当年度利益剰余金処分額で補填しました。

総括事項

人口減少や節水意識の向上などに伴い使用料収入が減少した一方、燃料費や資材費、労務単価の上昇により費用が増加する中で、老朽施設の更新などを進めました。その結果、一般会計から補助金を繰入れたことで黒字決算となりました。

しかしながら、公共下水道では昭和52年の事業創設以来、約50年が経過しており、管路や設備については老朽化が進んでおり、農業集落排水では下水道事業運営の効率化のため公共下水道との接続や、機能強化工事を行う必要があります。また、地震などの災害に備えるべく施設や管路の強靱化が求められていることから、勝山市下水道事業経営戦略や耐震化計画に基づき、国の交付金などを活用しながら老朽管路などの更新に合わせ耐震化を進めていきます。管路などの更新には多額の資金が必要になると予想されることから、国の交付金のほか、使用料改定も含め、財源を確保し財政的基盤を強化する必要があります。

今後も、市民生活を支える重要なライフラインとして、将来にわたり安全で安心なサービスの提供を

表① 業務状況

項 目	公共下水道	農業集落排水
水 洗 化 人 口	16,694人	2,026人
水 洗 化 戸 数	6,582戸	677戸
年 間 総 処 理 水 量	2,898,643m ³	238,411m ³
年 間 有 収 水 量	2,107,842m ³	218,257m ³
1日最大処理水量	18,264m ³ 令和6年6月23日	1,283m ³ 令和6年6月23日
有 収 率	72.72%	91.55%
管 渠 延 長	358,591.0m	47,408.0m

表② 財政状況

【収益的収支(税抜)】		【資本的収支(税込)】	
区 分	R6年度決算額	区 分	R6年度決算額
収 入	10億6,221万7千円	収 入	8億9,311万1千円
支 出	10億2,161万円	支 出	9億9,587万8千円
差 引	4,060万7千円	差 引	-1億276万7千円

表③ 主な改良事業

事 業 名 (工 事 名)	地 係	事 業 費 (工 事 費)
長尾枝線下水管渠布設工事 第1工区	村岡町寺尾	1,468万5千円
長尾枝線下水管渠布設工事 第3工区	村岡町寺尾	1,005万4千円
勝山浄化センターガス貯留タンク改修工事業務委託	松原	1億円
勝山東部地区農集排上野第1汚水中継ポンプ所圧送管布設工事	平泉寺町岩ヶ野	2,109万8千円
勝山浄化センター汚泥受入施設建設工事業務委託	松原	4,689万円
勝山浄化センター汚泥受入施設実施設計業務委託	松原	991万円
勝山浄化センターガス貯留タンク改修工事業務委託	松原	2億6,213万円

行うため、水処理施設の計画的な改築・更新に取り組み、社会的情勢の変化などを注視し、更なる経営の効率化を図ってまいります。

一般会計および各特別会計決算の詳細については、決算書を市立図書館に備えてありますのでご覧ください。